

私立大学図書館協会西地区部会  
中国・四国地区協議会2008年度総会  
議事要録

開催日時 2008年4月18日(金) 9:00~10:50  
開催場所 愛媛県県民文化会館(松山市道後町2-5-1)  
出席者 33大学 50名

挨拶(理事校) 四国学院大学図書館 館長 根本博愛  
議長選出 慣例により地区理事校の館長(四国学院大学図書館 根本博愛)が選出された。  
自己紹介 参加者全員の自己紹介を着席順に行った。

議事

報告事項

1. 2007年度 中国・四国地区協議会会務報告
2. 2007年度 西地区部会会務報告、予算執行状況報告、  
2008年度事業計画(案)及び予算(案)、役員校、当番校について
3. 2007年度 私立大学図書館協会会務報告、役員校について  
第69回(2008年度)私立大学図書館協会総会・研究大会について  
地区理事校の四国学院大学(東條)から「総会資料」3頁~12頁および16頁~19頁に  
基づき上記1~3 について一括報告された。会場から特段の質疑はなく、報告事項は  
すべて承認された。

協議事項

- 「第1号議案」2008年度(第38回)私立大学図書館協会 中国・四国地区研究会について  
責任幹事校 吉備国際大学の臼井洋輔氏から、総会資料13頁に基づき本年度の地区  
研究会開催案が説明され、議場は拍手をもってこれを承認した。
- 「第2号議案」2009・2010年度中国・四国地区理事校について  
四国学院大学(東條)から、総会資料14頁に記載の通り、次期地区理事校は輪番によ  
りノートルダム清心女子大学が就任予定であることが説明された。議場は拍手をも  
ってこれを承認し、同大学篠原孝房氏より挨拶がなされた。
- 「第3号議案」2011・2012年度西地区部会 部会長校について  
四国学院大学(東條)から、総会資料14頁に記載の通り、2011・2012年度西地区部会 部  
会長校は当地区協議会より選出であることが説明され、従来の申し合せにより広島修  
道大学に就任をお願いしたい旨、提案がなされた。広島経済大学 西川英治氏から、  
過去に2年かけて議論をし、岡山・鳥取地区より岡山理科大学、広島・山口地区より

広島修道大学、四国地区より松山大学が、部会長校担当輪番を引き受けられた経緯が補足説明された。広島修道大学の森川泉氏から、当該年度を迎えた時点で特段の事情が生じなければ就任を否まない旨の発言がなされ、議場は拍手をもってこれを承認した。

#### 「第4号議案」2014年度私立大学図書館協会総会(全国)開催校について

四国学院大学(東條)から、総会資料14頁に記載の通り、2014年度の私立大学図書館協会総会開催校は当地区協議会より選出であることが説明され、過去に広島・山口地区、四国地区で引き受けていることから、今回は岡山・鳥取地区より選出するのが妥当であり、大学規模を考慮して岡山理科大学に依頼したい旨、提案がなされた。広島経済大学の西川氏から、全国総会開催校を西地区部会では部会内の5地区による均等な輪番制で引き受けることにしたため、小規模大学の多い中国・四国地区は過重な負担となっているとの発言があり、次回西地区部会総会の際、5地区輪番制ではなく西地区全体での新たな輪番制に変更するよう当地区協議会から提案して欲しいとの要望が出された。岡山理科大学の西崎徹氏からは開催校を引き受ける旨の発言がなされ、議場は拍手をもってこれを承認した。

#### 「第5号議案」2011年度西地区部会総会開催校について

四国学院大学(東條)から、総会資料14頁に記載の通り、2011年度の西地区部会総会開催校は当地区協議会より選出であることが説明され、申し合せに従い、岡山・鳥取地区に依頼したいとの提案がなされた。理事校提出原案は岡山商科大学であったが、岡山理科大学の西崎氏から、原案作成の根拠とされた岡山・鳥取地区の役員校担当についての申し合せが改定されており、最新版によれば倉敷芸術科学大学の担当となることが説明された。四国学院大学(東條)から、原案を撤回し改めて倉敷芸術科学大学にお願いしたい旨提案され、議場は拍手をもってこれを承認した。

#### 「第6号議案」2013年度西地区部会研究会開催校について

四国学院大学(東條)から、総会資料14頁に記載の通り、2013年度の西地区部会研究会開催校は当地区協議会より選出であることが説明された。岡山理科大学の西崎氏から、第5号議案と同じく根拠となった申し合せが改定されており、それによれば岡山理科大学の担当となることが説明された。四国学院大学(東條)から、原案を撤回し改めて岡山理科大学にお願いしたい旨提案され、岡山理科大学 西崎氏からは受諾の意が表明された。議場は拍手をもってこれを承認した。

#### 「第7号議案」2009年度中国・四国地区研究会発表校について

四国学院大学(東條)から、総会資料15頁に記載の通り、輪番によれば2009年度の当地区研究会発表校は岡山・鳥取地区、吉備国際大学、広島・山口地区、福山大学、四国地区、高松大学であることが説明され、議場は拍手をもってこれを承認した。承認を得た3大学からは、それぞれ挨拶がなされた。

ここで議長は15分間の休憩を提案し、議場はこれを承認した。休憩の後、議長は議事再開を宣した。

#### 「第8号議案」2007年度中国・四国地区協議会会計残金処理について

四国学院大学(東條)から、本地区協議会の会計について、2006年度、2007年度の本地区研究会は、大学施設を借用して開催したため従来と異なって会場費支出を要せず、総会資料17頁に記載の通り2007年度末で434,871円の収支残を生じていることが説明された。さらに、地区研究会参加者を増やすための一助として、本年度の地区研究会意見交換会の予定会費6,000円の内、半額をこの残金にて補助したいとの提案がなされた。活発な議論がなされ、さまざまな意見が出されたが、最終的に議場は原案通りの会計処理を拍手をもって承認した。

#### 「第9号議案」教員研究室の蔵書点検について

広島修道大学の常広一信氏より、総会資料15頁に記載の理由で承合を提案した経緯が説明され、総会資料付録として配布された承合一覧にある通り、多くの館が協力し情報が集約されたことへの感謝が述べられた。議長は集約された承合についての質疑、補足等を議場に促したが、特に意見等は提出されず、議場は拍手をもって承合を確認した。

#### 確認事項

四国学院大学図書館(東條)から「総会資料」15頁に記載されている事項について、以下のとおり確認がなされた。

##### 1. 2008年度(第38回)中国・四国地区研究会発表校

岡山・鳥取地区 吉備国際大学

広島・山口地区 福山大学

四国地区 高松大学

##### 2. 2011・2012年度中国四国地区研究会責任幹事校

2011年度(岡山・鳥取地区) 川崎医療福祉大学

2012年度(四国地区) 高知工科大学

高知工科大学の坂本明雄氏より、同大学は公立化の準備を進めており2011年度には私立大学図書館協会より脱退している可能性が高く、その場合は他大学と交代していただかねばならない旨の状況説明がなされた。さらに同氏より、その事情を含んだ上での「予定」として輪番表への大学名記載は了解するとの表明がなされた。議場は拍手をもって、上記1、2の担当予定をすべて承認した。

#### IV. その他

特記事項なし

閉会挨拶(理事長) 四国学院大学図書館 館長 根本博愛

以上